

柏野だより

「防災まちづくり」に関する住民アンケートの結果をお知らせします！

柏野学区では、大規模な地震や火災等に備え、安心・安全に住み続けられる災害に強いまちを目指し、昨年度から地域と京都市、専門家が連携しながら『防災まちづくり』の取組を進めています。

昨年10月に、柏野学区のまちの魅力や防災上の課題、地域への想いや将来の意向などを把握するために、「防災まちづくり」に関するアンケート調査を実施いたしました。この度、その結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

地域の皆様におかれましては、大変多くの方にアンケート調査へのご協力いただき、誠にありがとうございました。皆様の貴重なご意見を今後の防災まちづくりの取組に活かすとともに、柏野学区の『防災まちづくり計画』に反映させていただきたいと思っております。

今後とも柏野学区「防災まちづくり」の取組へのご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

（1）アンケート調査の概要

- 実施期間：平成28年10月14日（金）～10月31日（月）
- 配布・回収：町内会を通じた直接配布・回収
- 配布数：町内会加入世帯：1,199通
- 回収数：978通（回収率：約82%）
- 有効回答数：957通（有効回答率：約80%）

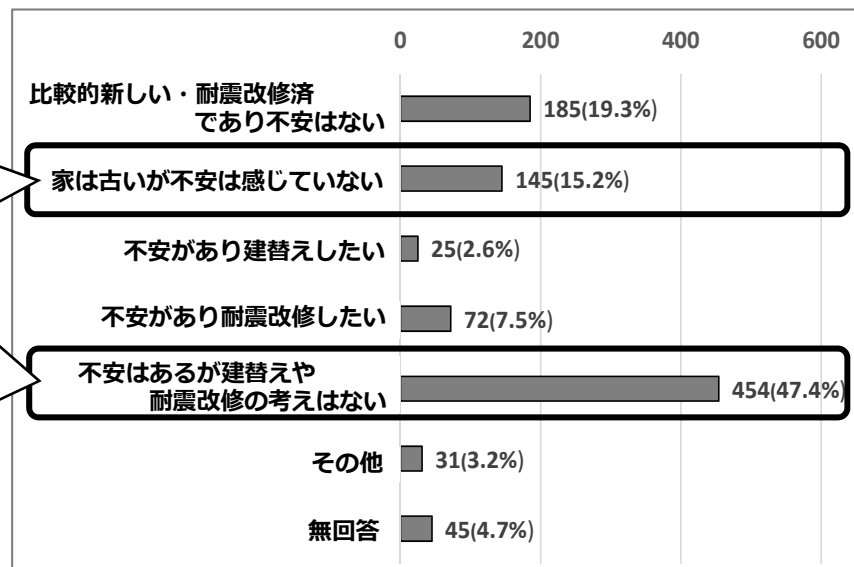
（2）アンケート調査の結果（抜粋）

お住まいの家について

問 あなたがお住いの家について、地震に対する不安はありますか？

「家は古いが不安は感じていない」の回答も多い。

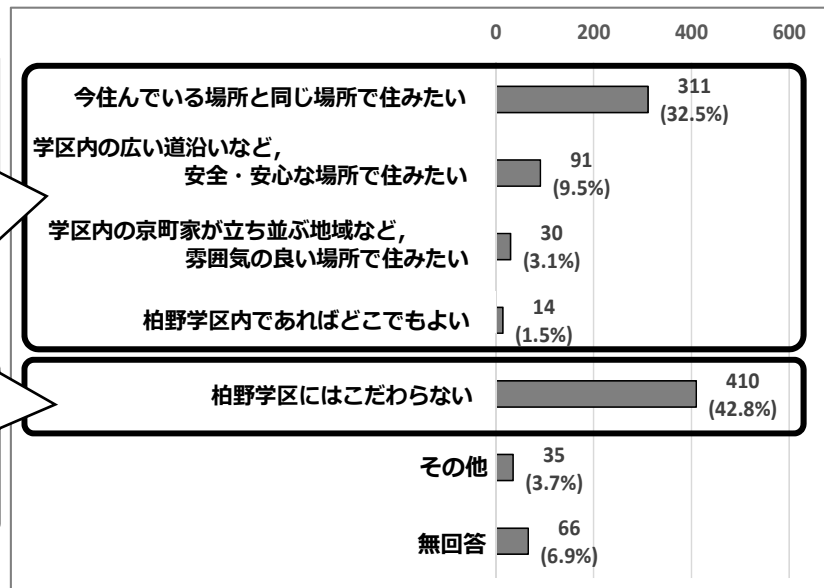
最も多い回答は「不安はあるが、建替えや耐震改修の考えはない」で、全体の約5割を占める。



問 あなたは、将来、家を建替える・住み替えるとした場合、どこに住みたいですか？

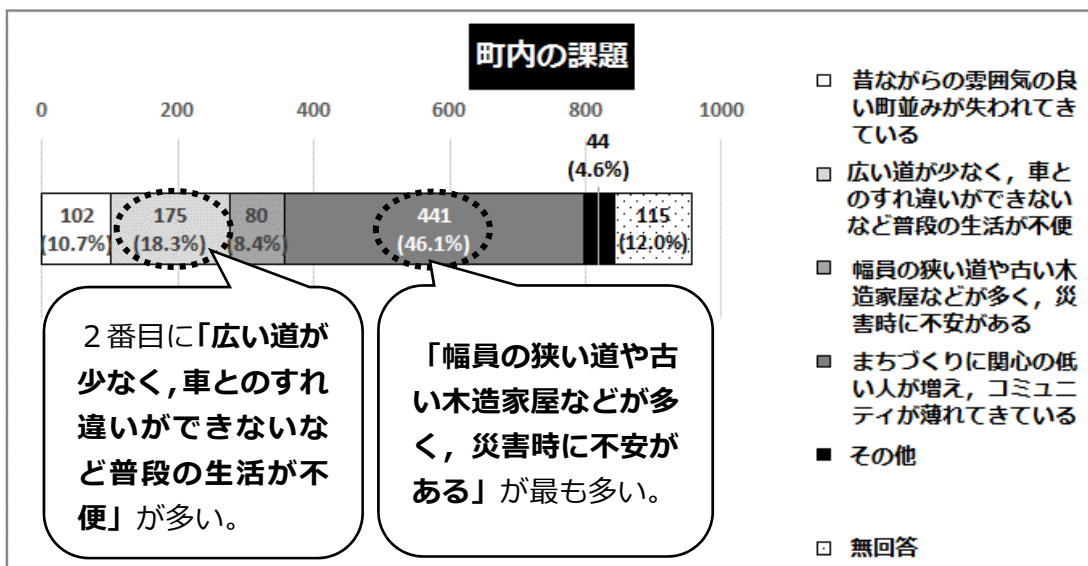
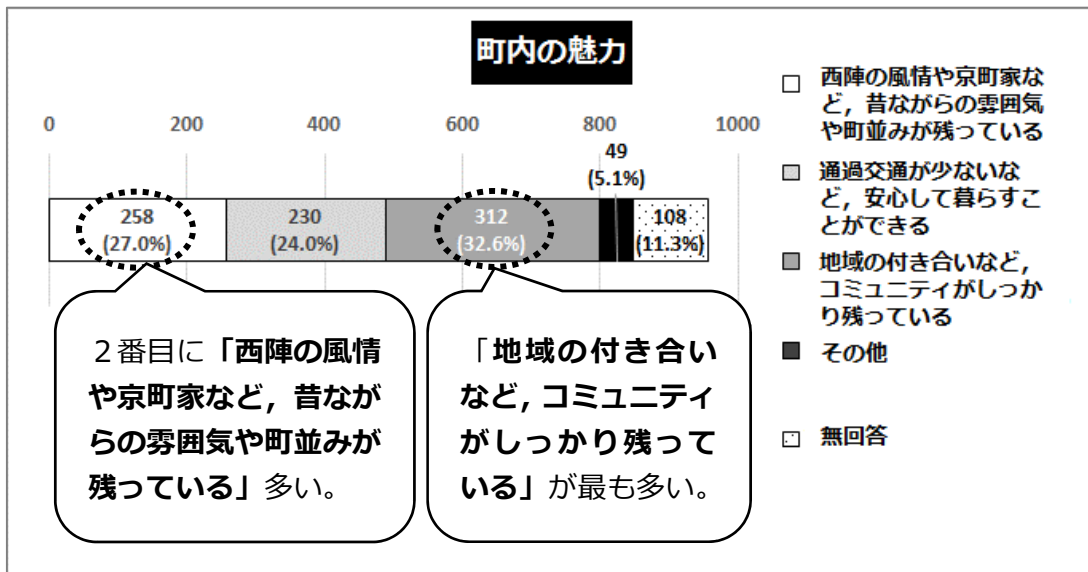
将来も引き続き、学区内に住み続けたいという意向をお持ちの方は、約47%。

最も多かった回答は「柏野学区にはこだわらない」。



あなたのご町内の現状について

問 あなたは、お住まいの町内の「魅力」と「課題」について、どのように感じていますか？

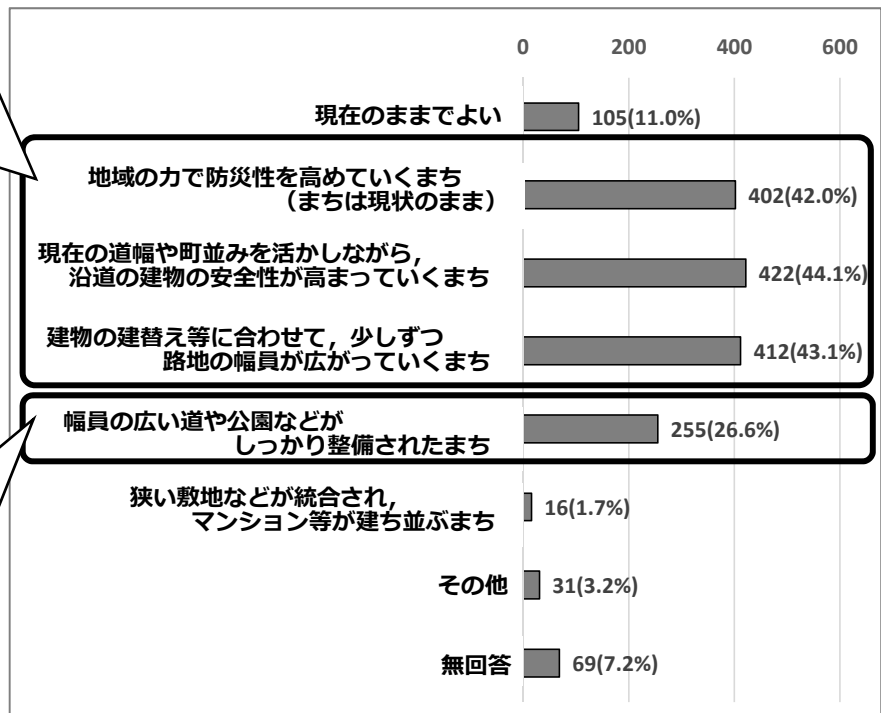


柏野学区の将来について

問 あなたは、将来、柏野学区がどのようなまちになると良いと思いますか？

全体として、まちの姿を大きく変えずに、今のまちの姿を残しながら防災性を高めるという考えの人が多い。

「幅員の広い道や公園などがしっかりと整備されたまち」と回答した人の数も多い。



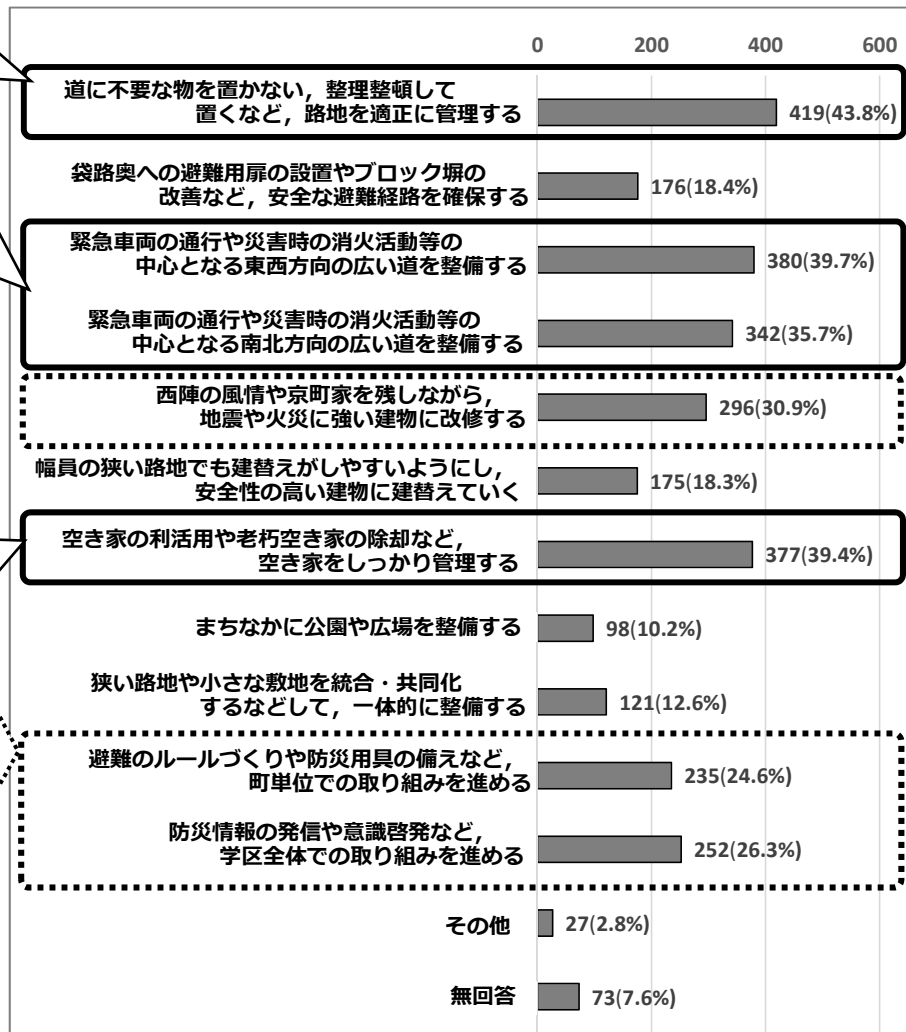
問 柏野学区の防災上の課題を解決するためには、何が必要だと思いますか？

最も多かった回答は「路地の適正管理」。

防災の軸となる広い道の整備に関しては、東西・南北ともに必要性を感じている人が多い。

「空き家の適正管理」の回答も多い。

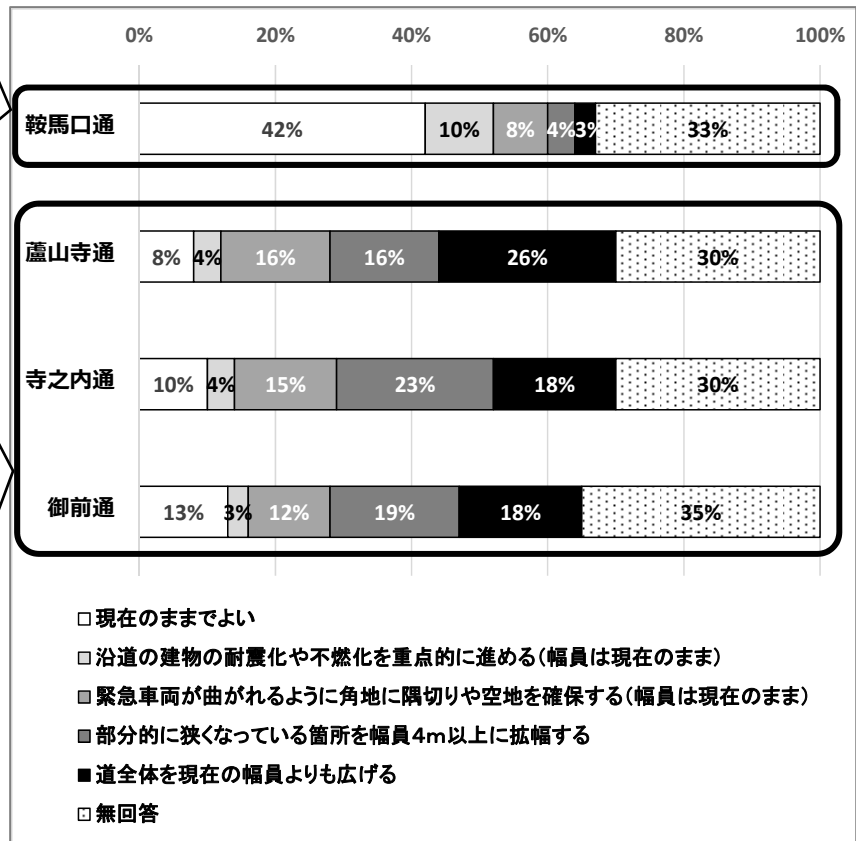
「西陣の風情や京町家を残しながら建物を改修する」や「町単位」・「学区全体」で地域の防災力を高める取組を進めると回答した人も多い。



問 次に挙げる防災上重要な通りについて、将来、どのようになると良いですか？

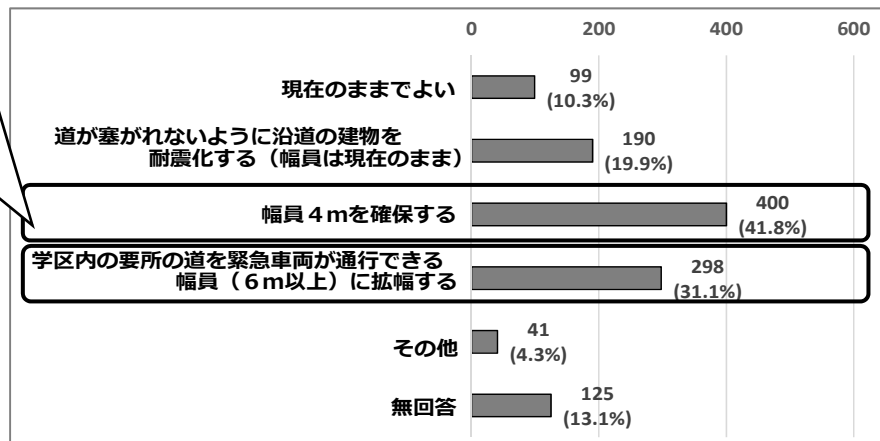
鞍馬口通は、「現状のままでよい」という回答が最も多く、次いで「幅員は現状のままで沿道の耐震化・不燃化を進める」が多い。

蘆山寺通・寺之内通・御前通は、「現在のままでよい」という回答は約1割で、約4割の人が道の拡幅の必要性を感じている。特に蘆山寺通は、3割弱の人が「道全体を現在の幅員よりも広げる」と回答。



問 上記設問に挙げた以外の幅員4m未満の道について、将来、どのようになると良いと思いますか？

最も多い回答は「幅員4mを確保する」、次いで「学区内の要所の道を緊急車両が通行できる幅員(6m以上)に拡幅する」であり、狭い道を拡幅する考えの人が全体の約7割を占める。



《自由記述欄(抜粋)》

- ・地震では道幅も大切だが、建物がつぶれたら道が全部ふさがると思う。耐震化が重要。
- ・全体的に狭い道や一方通行が多く、普段、子供を連れて通るのも危険を感じる。
- ・東北や熊本のような地震が起きた場合に、どこに・どのように避難するのかを常に分かるようにしてほしい。
- ・避難場所や避難誘導の看板を増やす。各町内でポスターを貼って知ってもらい、すぐに行動できるようにする。
- ・ご近所とのコミュニケーションが大切。一人暮らしの老人世帯は気にかけるようにしたい。
- ・防災まちづくり委員会の活動の定期的な報告(情報公開)をしてほしい。
- ・アンケートだけではなく、柏野校の体育館等で住民との話し合いの場を持つてはどうか。

※この「柏野だより」は、防災まちづくりに関する住民アンケート結果の抜粋を掲載しております。詳細については、報告会で説明いたしますので、ぜひお越しください。